

各都道府県支部と本部を結ぶ

令和4年3月11日

随時発行

全国小売酒販政治連盟

東京都目黒区中目黒2-1-27

Tel 03 (3714) 0172

※速報版のため事後修正の可能性有り

酒政連だより

野田地方創生担当大臣へ要望 「地域の繋がり、健全な飲酒環境の維持 の面でも酒販店は大事」との考え示す



野田大臣室を訪問

左) 左から吉田会長、野田大臣、街酒議連田中会長、
坂本幹事長

右) 野田大臣に説明する田中会長

3月11日、自民党「街の酒屋さんを守る国会議員の会」田中和徳会長、坂本幹事長、業界からは吉田会長が野田聖子地方創生担当大臣（衆・岐阜1区）を訪問し、酒販店への支援を要望しました。

田中会長からは、要望書を読み上げたのち、2月9日の街酒議連緊急総会での決議を受けて、政府、党へ要望を行ったことを説明。「活力ある地域社会の維持と継承のためにも、商店街や自治会の活動で貢献している酒屋さんの役割は重要」とし、コロナの影響で特に厳しい酒類小売業界への支援を要望しました。

（政府、党への要望の詳細は、令和4年2月10日、18日、3月1日「酒政連だより」）

吉田会長は、昨年 10 月まで行われていた酒類販売業者独自の支援が、現在は無いことを説明し、地方創生臨時交付金の協力要請推進枠等を活用した支援の検討を強く求めました。

要望を受けた野田大臣は、「地域の繋がりを中心は酒屋さんにある。また、顔の見えるご商売で 20 歳未満の飲酒防止等の面からも、役割はとても重要であると認識している。」と述べ、関係大臣にも要望内容を共有したいと発言しました。

野田大臣は、酒類の公正取引についても関心を示し、現在の酒類市場の状況などについて吉田会長へ質問するなど、活発なやり取りがありました。